

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

2020年にオリンピック・パラリンピックの影響で、3つの祝日の日付が変更になった事が話題になる。今年に限り日付が変更にな

なったのが、7月の第3月曜日から7月23日(木)に変更した「海の日」、10月の第2月曜日から7月24日(金)に変更した「スポーツの日」、8月11日から8月10日(月)に変更した「山の日」。10月唯一の祝日

が消滅したため秋シーズンの観光やイベントへの影響が心配になってしまう。小学館が発刊する1月24日号の「週間ポスト」令和2年最新版M EGA地震予測に、19年6月1日から11月23日の間に、要警戒とされる「1週間で5センチ

チ以上の上下動」があった地点を示した地図内に「本土内で最高数値の白馬、9・5センチ」の記載が気になる。M EGA地震予測とは、全国1300カ所に設置された国土地理院の電子基準点のG

し、地震発生との関連性を予測するものだ。測量学の世界的権威で「M EGA地震予測」を主宰する村井俊治・東大名誉教授は、現在の日本列島の地表の動きには、東日本大震災の直前と同じ兆候が出

日々発信される情報に関心を持つ

PSデータをベースに、1週間ごとの基準点の上下動を調べたデータに加え、地表の長期的な「隆起・沈降」、地表が東西南北のどの方向に動いたかの「水平方向の動き」の3つの指標を総合的に分析

ているとし、北陸・信越警戒ゾーンが危険水域を超えたと予測した。全国各地から地震の情報が伝わってくる中、私たちの地域は、

白馬八方尾根スキー場「リーゼンス」に降雪機のライトが連なる姿は地域に活気を伝えていているようだ。複数年計画で八方尾根開発と白馬観光開発が巨額投資して新型の降雪機を導入。特に中層部に導入した15台の投入効果が出たとの

雪不足で迎えた年末年始のスキー場には、昨年を上回る約14万4000人の入込があった。威力を発揮したのが降雪機。降雪機を整備したスキー場にスキー客が集中した。降雪可能な夜には、

情報。今後も降雪機整備が求められていくのだろう。観光庁は、国際競争力の高い「スノーリゾート」づくりへの財政支援を強めるとの情報もあり、これらを活用したスキー場の取組みに期待していきたい。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)



1月中旬の里の積雪状況は温暖化への問題提起をしているようだ